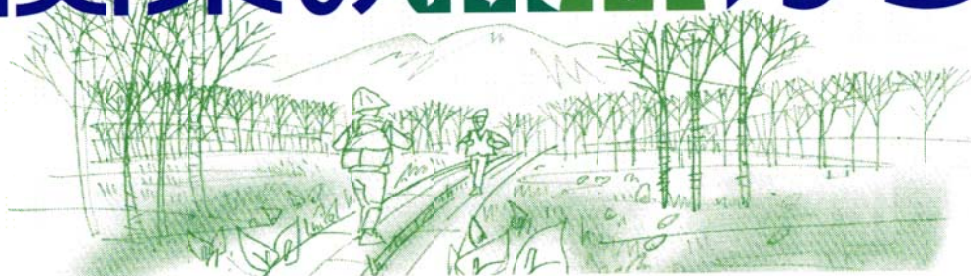


平成23年6月1日

第87号

関東の森林から



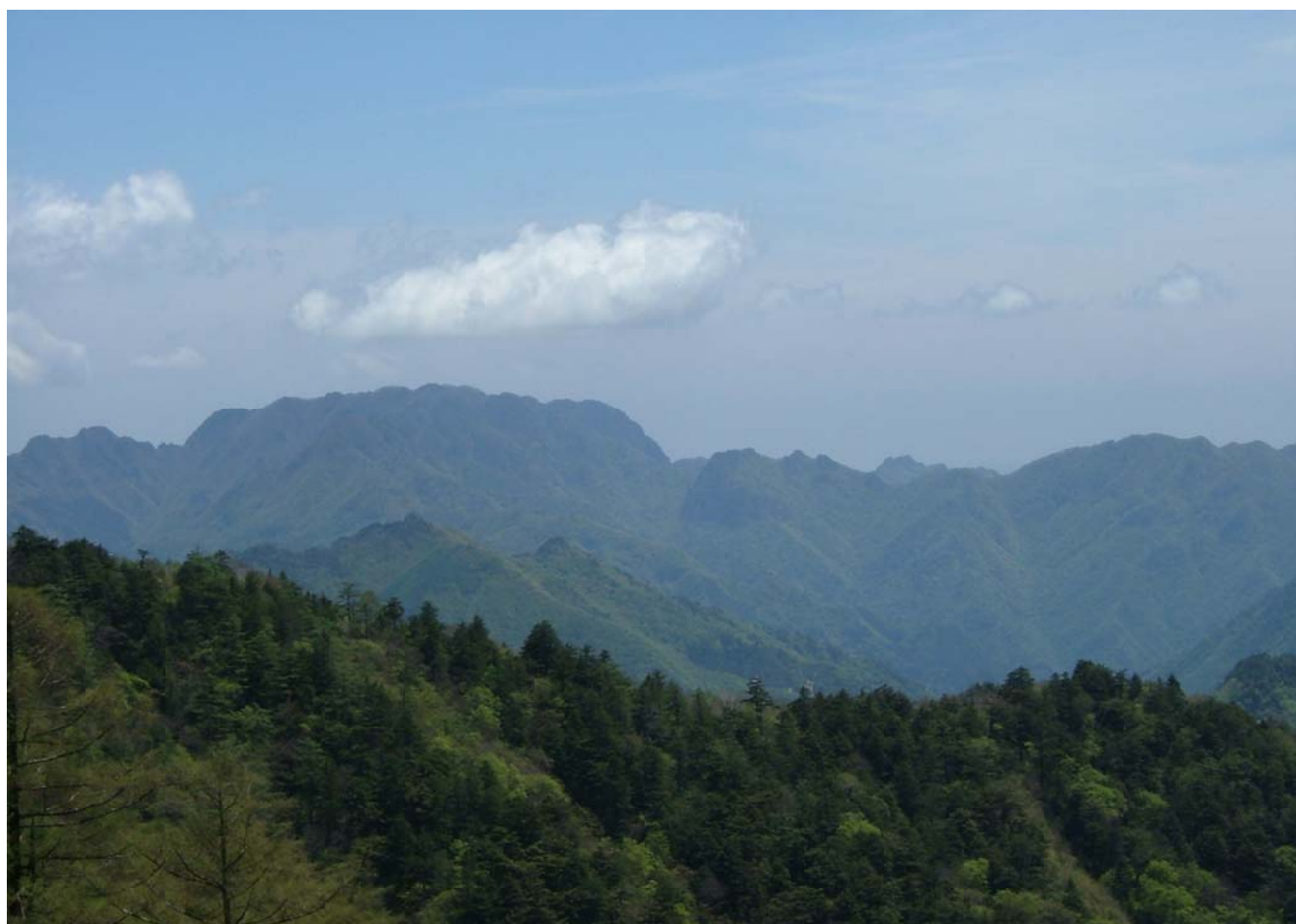
国民の森林・国有林

関東森林管理局

前橋市岩神町4-16-25

TEL.027-210-1158

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/>



三国峠から両神山を望む（埼玉県秩父郡小鹿野町）

（撮影者：埼玉森林管理事務所 北野 恭行）

国産材の安定供給を目指した取組

森林整備部 販売課

私と国有林 「雨にも負けず」

おもてごう里山クラブ 事務局 山寺 一 氏



2011・国際森林年

国産材の 安定供給を目指した取組

森林整備部 販売課



宮の郷木材流通センター



丸太の選別機

平成21年12月に農林水産省が公表した「森林・林業再生プラン」では、目指すべき姿として10年後の木材自給率50%ということが掲げられています。これを現実のものとするには、国産材の安定的な供給体制を定着させるとともに川上から川中・川下に至る効率的な流通体制の整備が不可欠です。昨年度、当森林管理局管内で整備された木材流通施設をご紹介します。

宮の郷木材流通センター

昨年12月に茨城県常陸大宮市の宮の郷工業団地に、原木市場と木材乾燥施設が完成しました。

原木市場は茨城県森林組合連合会が事業主体となり、敷地面積は2万3千平方メートル、年間の原木取扱量は5万立方メートルの計画で、管理棟のほか、ストックヤード、丸太の選別機などが整備されました。

今年度も国有林で生産された丸太の販売を委託している市場として、茨城森林管理署から2万5千立方メートルの出材を予定しております。

木材乾燥施設は地元製材業者で組織する八溝多賀木材乾燥協同組合が事業主体となり、柱材、板材など、施工時に収縮や曲がりのない乾燥材を供給するのが目的です。原木市場と隣接する敷地面積は、1万平方メートル、乾燥材生産量は年間5千立方メートルの計画で、高品質な国産材を安定供給することで地場産業の振興も期待されています。



渋川県産材センター



丸太の選別機



製材機



チップ加工装置

渋川県産材センター

森林・林業再生プランによって間伐材を搬出して利用する利用間伐の取組が実践されますが、増大するそのような利用間伐材の受け皿となることを目指して、群馬県森林組合連合会渋川県産材センターが平成23年3月から試運転を開始し、5月17日に竣工式が開催されました。

同センターには、住宅の柱用となる通直な丸太（A材）や集成材の部材となるやや曲がりのある丸太（B材）、曲がりが大きく製紙あるいは燃料用のチップとなる丸太（C材）が選別されずに、3径の長さで搬入されてきます。同センターでは、これらの丸太を選別機で仕分けし、A・C材ごとに固定価格により全量買い取ります。

選別後、A材は協定工場へ直接販売するか、もしくは柱材加工し提携工場へ販売され、B材は集成材用に加工し提携工場へ、C材はチップ加工し製紙用・燃料用として販売されます。

このように、森林資源の有効活用と林業生産活動の活性化、雇用の創出が期待されています。

今年度の原木取扱量は、約3万立方メートル以上を目標としています。

国有林におけるシステム販売の実施

関東森林管理局では、一定の要件を満たす工場等と森林管理局長が、国有林で生産されたスギなどの丸太の販売に関する相互協定を締結し、その協定に基づいて一定量を安定的かつ計画的に販売するシステム販売を実施しています。

これにより、国有林材の需要・販路の確保・拡大を図り、併せて購入者の買入に係るコスト低減、地域における中核的な素材生産・素材流通・製材の担い手の育成等に資することを目的として、国産材の安定供給体制の構築に取り組んでいます。

今年度は、特に東日本大震災の仮設住宅用等の復興資材としての需要に早期に対応するため、システム販売協定の申し込み期間を短縮して1回目の協定を結び、既に2回目の公募を開始して国有林材の早期供給に努めています。



2011・国際森林年

幹部の紹介

5月16日付け

関東森林管理局次長

「東京事務所長」


 きのした
木下 喜博

〈略歴〉

出身 東京都

昭和55・4 林野庁入庁

平成元・4 熊本営林局加治木営林署長

平成3・8 総務庁行政監察局副監察官

平成5・8 林野庁指導部研究普及課課長補佐

平成8・4 帯広営林支局業務部指導計画課長

平成12・4 北海道森林管理局計画部調査官

平成13・8 北海道森林管理局業務管理官

平成15・4 近畿中国森林管理局森林整備部長

平成18・4 林野庁国有林野部業務課国有林野

総合利用推進室長

総務部長


 みよし
三好 誠司

〈略歴〉

出身 愛媛県

昭和57・4 高知営林局入庁

平成8・4 長野営林局坂下営林署長

平成11・6 近畿中国森林管理局森林整備部企画

画官

平成13・8 (独) 林木育種センター企画総務

部総務課長

平成16・4 林野庁国有林野部業務課課長補佐

平成19・4 林野庁林政部林政課課長補佐

平成21・4 近畿中国森林管理局総務部長

平成23・5 関東森林管理局総務部長

森林整備部長

川野 康朗



〈略歴〉

出身 宮崎県

昭和58・4 林野庁入庁

平成5・8 熊本営林局下屋久営林署長

平成7・8 林野庁業務部業務第二課課長補佐

平成11・4 林野庁指導部治山課課長補佐

平成16・4 (独) 緑資源機構計画評価部環境

課長

平成18・8 林野庁森林整備部治山課総括課長

補佐

平成19・10 林野庁森林整備部治山課山地災害

対策室長

平成21・4 中部森林管理局計画部長

平成23・5 関東森林管理局森林整備部長

森林管理署長等 () は前職

▽会津森林管理署長 梨本 正昭

(吾妻森林管理署長)

▽吾妻森林管理署長 岩下 秀美

(東北森林管理局岩手南部森林管理署長)

▽下越森林管理署長 高崎 道人

(北海道森林管理局網走南部森林管理署長)

治山教室参加者募集

大井川治山センターでは、夏休みに小中学生を対象とした治山教室を開催します。
森林の働きや崩れた森林を治す治山事業について勉強してみませんか。

実施日 平成23年8月2日(火)

実施場所 静岡県榛原郡川根本町

榛原地区治山工事箇所

募集人員25名(応募多数の場合は抽選)

お申し込み・お問い合わせ先

・大井川治山センター・担当：藤崎

・お申し込み方法などにつきましては、

大井川治山センターのホームページ

をご覧ください。

〒428-0411 榛原郡川根本町千頭950-2

電話番号 (0547) 59-3334

<http://www.rinyo.nati.go.jp/kanto/isan/index.html>



高山(父島)から見た南島

小笠原諸島は、東京港竹芝桟橋から1,000km南方にあり、北は聳島列島から南は西ノ島まで、南北に約400kmに渡って散在する30余りの島々で構成されています。

また、小笠原諸島の総面積は、10,441haあり、このうち国有林野面積は6,613haで、小笠原諸島の63%を占めています。

このような小笠原諸島の国有林野について、これから4回に分けてご紹介します。

小笠原諸島の国有林野 (第1回)

小笠原諸島森林生態系保護地域

小笠原諸島森林生態系保全センター



世界自然遺産推薦
ロゴマーク



固有種:マルハチ(木性シダ)

第1回目は、小笠原諸島森林生態系保護地域です。

小笠原諸島に生育する植物種数309種のうち、固有種は143種(固有種率46%)あります。このうち、森林を構成する木本植物に限定すると68%にもなります。また、特別天然記念物に指定されているハハジメグロや天然記念物に指定されているオガサワラコウモリ、アカガシラカラスバト、オガサワラカワラヒワは小笠原諸島にしか生息していません。さらに、陸産貝類の生息に適した広葉樹林が多い小笠原諸島では、種分化が進み百種以上が記録され、このうち9割以上が固有種です。



固有種:アカガシラカラスバト

このように、小笠原諸島には、希少な動植物や固有の動植物が多く存在する一方、外来種の影響などにより、これら動植物の生育・生息環境が劣化しているため、これ以上劣化させずに後世へ継承するべく、平成19年4月に森林生態系保護地域を設定しました。その面積は5,580haで、小笠原諸島の国有林野の84%にもなります。

森林生態系保護地域は、通常、人手を加えず、自然の推移に委ねることを原則としています。小笠原諸島は、外来種対策抜きには、本来の自然を回復・維持することが困難なことから、外来種の駆除や過剰利用による生態系の衰退防止のため、地域関係者や学識経験者などから構成



固有種:オガサワラオカモノアラガイ

される「小笠原諸島森林生態系保護地域保全管理委員会」を設置し、これらの取組を計画的に行う総合的な指針として、平成20年3月に「小笠原諸島森林生態系保護地域保全管理計画」を策定し、これに基づき適切な管理及び利用に努めています。

小笠原諸島は、現在、世界自然遺産の登録に向けて関係者が一体となつて取り組んでいます。国有林野事業として本計画に基づき事業を進めることは、世界自然遺産の登録にも資するものと考えられます。

具体的な事業内容は、次回以降ご紹介いたします。



天狗山山開き開会式(平成22年)

福島森林管理署白河支署の管理する国有林の中でも雑木の多く残る46・14鈴を遊々の森として平成20年に借り受ける協定の締結をしました。その名称は、「おもてごう天狗の森」といいます。その年の11月には、「日本一遅い？山開き」と銘打った山開き登山を開催しました。「11月に山開き？」と思われる方が多いと思いますが、当クラブの会員の多くは農業もしている人が多く、春に山開きを行うには多忙で時間が無いとのことから農作業の終わる11月としました。加えてその時期になれば、

私と国有林

雨にも負けず

おもてごう里山クラブ 事務局 山寺 一



二分の一成人証書授与式

天候も安定して頂上からの眺望も良いだろうと決定しましたが、当日は朝から雨でかなりの参加者があるだろうとの皮算用は打ち砕かれてしまいました。

平成21年5月からは、「二分の一成人式」を開催しました。二分の一ということで10歳になる小学4年生とその保護者を対象に開催しました。「山の木の里親になってもらう」と銘打って「おもてごう天狗の森」の木に子供の名前を書いたプレートを付けました。そして子供たちには、時々「おもてごう天狗の森」を訪ね



登山道階段整備作業中

て貰いたいという希望もあり行いました。そして成人式といえば、成人証書です。森に関わるクラブですから、証書は杉板に一枚一枚手書きで書いて貰ったとてもすばらしい物です。天狗山では記念植樹をして下山後には、スタッフ特製の豚汁を振る舞いました。前日から心配だった雨は、参加者が帰ったら降り出すという状況でした。

そのほか登山道の整備をしました。が、全く雨の降らなかった時は無いと言っても過言でない1年に、いつしか「雨の里山クラブ」と呼ばれるようになりました。

2年目となる平成21年の「日本一遅い？山開き」は雲一つ無い晴天に恵まれ、300人に迫ろうかという参加者があり、スタッフはてんてこ舞いの1日でした。キノコたっぷり豚汁、つきたての餅、記念の天狗の焼き印入り木製コースター、地元

の産品等が当たる抽選会と、盛りだくさんの内容に参加者には好評でした。

3年目の平成22年は、山開きの日だけが雨でまた参加者は激減、濡れた登山道で転ぶ人もいたりして、散々な山開きになってしまいました。

この度の東日本大震災により、何事も自粛ムードの中ですが、11月23日の勤労感謝の日には「山開き」を開催する予定です。

これからも、明日に向かって、がんばるために「山開き」と「二分の一成人式」を二大行事として「おもてごう天狗の森」の整備をしていきます。



天狗山下山後クラス毎に記念撮影

最近、「カタクリ」の群生地が見つかったことから、保護、育成に努め「カタクリ」は天狗山と言われる様になりたいと酒を酌み交わしながら、語りあっています。

「がんばろう東北」「がんばろう福島」

森づくりの最前線

茨城森林管理署 十王森林事務所 森林官 藤田 進



高鈴山から望む十王森林事務所管内

私の担当している十王森林事務所及び日立森林事務所は、茨城県北部に位置し、日立市北部を十王森林事務所（面積約3,300㏍）が、南部を日立森林事務所（面積約2,400㏍）が管轄しています。

日立市の森林率は約58%で、うち国有林が51%を占め、人工林率は80%を超えています。

当管轄区域の特徴としては、太平洋とほぼ平行に位置しており、海から直ぐの潮害防備保安林を有する森林や住宅団地が境界に接している里山・木材生産を主たる目的として林業経営が行える森林・碎石の採取箇所と多岐に渡っています。



法人の森契約企業社員による保育活動

日立森林事務所管内の高鈴山（標高624㍎）は高くありませんが、管轄する国有林内では最高峰であり、急峻で浮き石が多く表土が浅く滑りやすいことから、事業実行に当たり大変な地域となっています。

十王森林事務所管内は、比較的平坦で肥沃な土地のため、スギ・ヒノキの成長が非常によく、病虫獣害の被害もほとんど無いことから、林業経営を行っていく上では最適な地域でもあります。

現段階では、間伐の必要な林分がまだ相当数あることから、パトロールをしながら10年後・20年後を見据えた森林施業を実施しています。

また、社会貢献活動の一環として森づくりに参加する企業と法人の森契約を結び、新人社員の教育の一環として植付、下刈などを実施しています。こうした活動を通して、森林の大切さ、森づくりへの理解を深めていただければと思っています。

最近では、登山ブームによりハイカー等の入林者が増えてきています。平成3年には、国有林を含め約220㏍を消失するという大規模な林野火災が発生しており、山火事等の注意喚起も大変重要となっています。この林野火災を契機に日立市消防本部が主体となり関係機関が参加し、大規模な林野火災消防演習が毎年実施されており、森林管理署も参加しています。この毎年の演習実施が功を奏してか、平成3年以降は大規模な林野火災は発生しておりません。

先に発生した東日本大震災のマグニチュード9.0の地震では、日立市は今まで経験のない震度6強を観測し、茨城県も沿岸を中心に被災しましたが、幸い当管轄区域では大規模な林地崩壊などの被害はありませんでした。

今後、被災地が一日でも早く復旧・復興されることを祈りつつ、国有林を将来にわたり胸を張って引き継げるような森林施業を実施して行きたいと考えています。



森林教室の様子



毎年行われる林野火災消防演習の様子

管内の百名山 「両神山」



小鹿野町から両神山



両神山のシャクナゲ

両神山(標高1,723㍎)は、埼玉県の西部、秩父市と秩父郡小鹿野町の境目にあり、奥秩父山塊の北端に位置し秩父多摩甲斐国立公園に属しています。山頂付近は硬いチャートで形成され鋸歯状の岩稜の山です。

両神山は、伊弉諾・伊弉冉尊の二神を祀っていることから両神といわれるようになったという説、日本武尊が東夷征伐の時、この山を八日間見ながら通って行ったことから、八日見山と名づけられた説、八つの頭を持った竜王(ヤオガミ)を祭る山が転じて両神山となったという説など、様々な諸説があります。山名の表すとおり、古くから武甲山、三峯山とともに「秩父三山」と称され山岳信仰の山として知られ、多くの石碑や石像が残されています。

両神山には、コメツガ、ブナ、シオジなどの樹木があり、5月下旬から6月にかけてヤシオツツジ、シャクナゲなどの花が咲き、秋の紅葉も見所となっています。また、カケス、オオルリ、コマドリ、イワツバメなどの野鳥が多種生息しています。

登山コースは日向大谷コース、七滝沢コース、八丁峠コース、梵天尾根コースなどがあり日帰り登山も可能な山ですが、一部では鎖場があり険しい山でもあります。4月18日には、山開きが行われ登山者等の安全が祈願されました。

埼玉森林管理事務所では、希少な動植物が生息・生育する秩父地域の国有林を後世に残すため、これからも森林の維持・保全に努めていきたいと考えています。



両神山頂

(埼玉森林管理事務所 広報広聴連絡官)

発行所 関東森林管理局
編集 総務課
TEL (027) 210-1158
FAX (027) 210-1159

<http://www.rinpa.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

〒193-0844 八王子市高尾町2438-1
電話番(042) 663-6666

高尾森林センター
お申し込み・お問い合わせ先

申込締切 平成23年7月3日(日) 必着
参加費 大人1,700円 小人500円
(バス往復代440円は個人負担)

③住所④電話番号⑤申込者全員の氏名⑥年齢⑦性別を明記の上、当センター「木下沢の渓流でジャブジャブ歩き」係まで応募ください。

集合場所 JR高尾駅北口改札前9時15分
募集人員 親子30名(応募多数の場合は抽選)
申込方法 往復はがきに①イベント名「木下沢の渓流でジャブジャブ歩き」②郵便番号
③住所④電話番号⑤申込者全員の氏名⑥年齢⑦性別を明記の上、当センター「木下沢の渓流でジャブジャブ歩き」係まで応募ください。

実施日 平成23年7月17日(日)
実施場所 八王子市裏高尾町小下沢国有林(木下沢周辺)

高尾の渓流に生息する水生生物を見つけよう！

木下沢の渓流でジャブジャブ歩き

参加者募集

参加者募集

